



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



いきよう

ちからいっぱい

じぶんらしく

まっすぐに



▲水に浮かんでプカヘン！

フープくぐりもできるよ！

プールに入る前には「プールサイドを走らない」などの約束を確認してから入っています。水着に着替えることにも慣れ始め、自分で着脱をしています。プールでは「顔つけられるで」と、できる事を見せてくれたり、友だちや保育者と水のかけあいなどを楽しんだりしています。5歳児まつづくり組は小学校のプールにも入らせていただきました。約束を守って行動し、全身で「水遊びが好き」「水って気持ちいい」と感じてほしいと思います。

キンダー
(3・4・5歳児)

大変な暑さが続いています。その中、子どもたちは水着に着替えると、嬉しそうにプールに入り、水しぶきをあげて体いっぱい水に親しんでいます。暑い時にひんやりした水に触れるのはとても心地よいものです。この「気持ちいいなあ」と感じるからこそ「生きる喜び」につながっていくと言われています。

水遊び気持ちいいよ！



案山子祭りの後は、こども園の畑に立って野菜たちを守るよ～！

鴨庄地区で行われている案山子祭りに「いちじまうちゅうじん」をみんなで作って展示させていただきました。まつづくり組の子どもたちがアイデアを出し合い空き缶で作りました！

案山子まつりへ



▲タライにお友達と入ってジャ～！



▲みんなでパチャパチャ♪

ナーサリー
(0・1・2歳児)

ナーサリーでは一人用タライや数人に入れる小さいプールなどを、いくつか用意し、その子の状況に合わせて水遊びを楽しむようにしています。水をすくって入れ物に入れ、したたる水に触れたりプールの中でワニさんになったりして水の気持ち良さを感じています。それぞれ思い思いに水遊びを楽しんでいます。

倉橋惣三の言葉



心は身体と同じように

あるいは身体よりもっと以上に、

じっとしていることが嫌いであって、

常に動き、働き、活動を

求めているのである。

この活動に満足を与えていけば

次から次へと活動して、

いくらでも心がのびてゆくのです。

(解説)

「幼稚園雑草」より

大切なのは心が動くこと。心が動くから自然と体も活動も活発になっていくのです。園でも子どもの興味や関心がワクワクと動き出すような生活を保障していきたいです。

倉橋惣三(1882～1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。